

— Lions Clubs International District 334-C —

the Lion



ザ・ライオンタイムズ DISTRICT 334-C



2017-2018

VOL.2

地区ガバナーアピール

静岡県知事表敬訪問

ACT報告

年次大会案内

事務局だより

沼津・千本松原からの富士山

地区ガバナーアピール



今年度半期を経過して

地区ガバナー

岩崎 一雄

新年明けましておめでとうございます。

時の経つのは早いもので、334-C地区ガバナーに就任してから半年が経過しました。その半年間には、ガバナー公式訪問等の場を得て皆さんとお会いし、今年度の基本方針等をお伝えしてきました。

皆さんに特にお伝えしたことは①会員増強に努力していただきたいこと；各クラブ共に会員数が減少しているのが現状です。年度末には是非全クラブ純増になるよう努力をお願いしたい。②魅力あるクラブ運営を心掛けていただきたいこと；例えば席次の工夫・会員同士の楽しい会話・各メンバーに発言の場を設ける・クラブへの提案を話し合う。③ライオンズクラブの異業種交流的な組織体質を生かしていく、等です。

昨年10月16日にはグランシップを会場に各クラブの関係役員にご参加いただき、CQI研修会を開催しました。CQIは今までのCEPが名称変更になったもので、LCIフォワード＝人道奉仕の拡大によって2020～2021年度までに年間2億人以上の生活を改善できるようにするー私たちの奉仕を3倍にするーことを目標に実施するプログラム＝を理解して全会員で「クラブ活性化計画」を実施して、クラブの活性化と発展につなげていただく事です。

「人は宝」といいます。クラブが奉仕活動を実施するには同じ志を持つ同志を増やし、和をもって楽しく活動することこそ肝要と考えます。

是非、下半期はこのことを念頭に「クラブ活性化計画」を実践し「同志を増やす」ことにつなげて頂きたいといたします。

今年も皆様にとって素晴らしい年でありますよう心から祈念申し上げております。

VISIT

静岡県知事表敬訪問



静岡県知事選挙が終わって二ヶ月後の8月31日(木)、岩崎一雄地区ガバナーは細澤啓司キャビネット幹事、大岩正樹キャビネット会計と共に、県庁知事公室に川勝平太静岡県知事を表敬訪問し懇談しました。

席上、岩崎地区ガバナーから今年度の地区スローガン「新たな100年へー全ての奉仕に光と愛を!」と基本方針について説明を申し上げ、沼津からの富士山をモチーフにした334-C地区のピンとライオンの刺繍の小紋のネクタイを贈りました。また、今年度はライオンズクラブ国際協会創立101年目に当たり、新たなスタートの年であることも申し添えました。

知事は2013年に当334-C地区と締結した「包括的連携協定」に触れられ、青少年の健全育成、環境保全・整備、災害時の連携、県民の社会貢献活動の推進などで、今後も双方が連携協力していくことを確認しました。

また、第64回地区年次大会が5月13日(日)県下80クラブのメンバーが一堂に会して沼津市で盛大に開催されることもお伝えしました。

終わりに、社会奉仕を通して地域活動に貢献する私共ライオンズクラブへのご理解とご協力をお願いして知事公室をあとにしました。

生まれてきてくれて、ありがとう。 ～いのちを考える講座～

1 R ・ 1 Z 浜松ひかり L C



2010年に県下唯一の女性のみで創立されました、浜松ひかりライオンズクラブが、単独アクティビティとして本講座を始動しましたが、2013年。おかげさまで、今年で5年目を迎えます。なにより特筆すべきは、その年の年次大会において【ガバナー大賞】を頂いたことに尽きるでしょう。

市内の助産師会を通じて、助産師さん2名を幼稚園（保育園）に派遣し、小学校入学前の年長園児とその保護者を対象に、助産師さんのお話や紙芝居が始まります。小さな点から始まるいのち。胎児を模した人形を抱っこして、園児たちは興味深々。成長過程の赤ちゃんの大きさ・重さを体感してもらいます。

「自分はどこから、生まれてきたの？いのちってなあに？」という純粋で素朴な疑問を通して、「お父さんとお母さんから、いのちの元を貰って生まれて来たの！家族みんなで、あなたが生まれて来るのを待っていたのよ！」といういのちの大切さ・尊さを伝えます。

最後には、お母さんの産道に見立てた大きな袋をくぐり抜けて、向こう側に待ち受けるお母さんの胸に飛び込む園児の無邪気な姿は何度見ても、感動で心が揺さぶられます。また、保護者の皆様方には、お腹に居た頃の記憶を蘇らせて頂くことによって、初心にかえり、より一層の愛情と親子の絆を深める、又とない機会であること、素晴らしい時間を共有できる場であると、自信をもって言える奉仕活動だと思います。

浜松市助産師会の皆様には、回を重ねるごとに惜しめない努力と、講座の維持にご協力を頂いております。

終了後に寄せられるお母さま方からの、感謝とお礼の言葉に励まされ、お力を頂き、これからも、一人でも多くの園児達、親御さん達とのご縁が続きますよう、クラブ丸となって、この「いのちを考える講座」を継続して参る所存です。

第25回 献眼者合同慰霊祭を開催

1 R ・ 2 Z 磐田シニアLC



2017年10月21日(土)、334-C地区1リジョンの2(西垣邦彦ZC/5C)ゾーンと4(内藤澄夫ZC/6C)ゾーンは、第25回献眼者合同慰霊祭を磐田シニアLCがホストクラブを務め開催しました。

会場は、目の霊山で知られる袋井市の古刹油山寺。例年は同寺境内に1993年10月にLCが建立した立派な「献眼者報恩慰霊之碑」の前で執り行なってきたが、当日は生憎の雨天予報でしたので、会場を本堂内に移しての実施となりました。

多くの献眼者のご遺族(33)をはじめ、静岡県アイバンクの堀田喜裕理事長や袋井市の原田英之市長等のご来賓をお招きし、当該LCの各ZCと11LCの三役とメンバー合わせて190人が参加しました。

厳粛な雰囲気の中油山寺僧正の読経に導かれながら、参加者全員が次々と合掌

を捧げるとともに、ご親族の逝去の悲しみの中で、献眼に対するご理解と勇気あるご決断を下さったご遺族への感謝の気持ちを、心からお示し出来たのではと思う献眼者慰霊祭でありました。

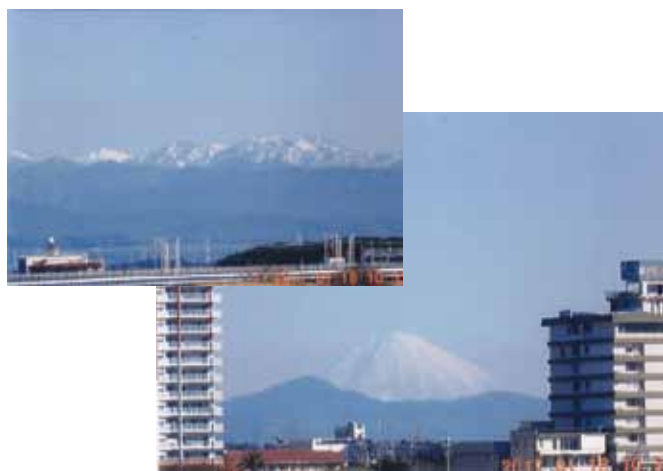
今後も献眼活動はLC活動の大きな柱でもありますので、先ずメンバー全員が「100%献眼登録者」に成ることが希求されます。

そして、献眼登録者は日頃のご家族等との会話の中で献眼に対する強いご意志をお伝えし、そのご家族のご理解とご協力が、最終的には最重要であり不可欠なことと痛感するところであります。

合掌

CN55周年記念事業

1 R・3 Z 湖 西 L C



湖西市は静岡県の最も西にあり、浜名湖の西岸で愛知県の豊橋市に隣接する位置にあります。当クラブは1962年に豊橋南ライオンズクラブのスポンサーにより、日本順位499番目、当地区順位16番目に結成され55周年を迎え、11月10日に市内招待者・LC関係者・姉妹LC（国内&海外）・当LC等124名でCN55周年記念式典を行いました。

湖西の自然と文化を守り育てることをモットーに奉仕活動をしております。そして世界に誇る「豊田佐吉翁」生誕地でもあり、また、東海道新居の関所は日本で唯一現存する関所として有名です。

記念式典では下記に示す二つの記念事業を掲げ目録の贈呈を行いました。

一つ目の記念事業は、湖西市へ「富士山・南アルプス眺望案内板」一式を寄贈いたしました。案内板は湖西市新居町海浜公園内へ立てられ、お披露目式が12月14日に湖西市長をはじめ当クラブから4名のメンバーが参加し行

われました。晩秋から冬には浜名湖越しに真っ白な雪におおわれた富士山や南アルプスの山々が一望できます。それは他にはない、とてもすばらしいビューティースポットであります。（天候次第）また浜名湖は、隠れたカキの産地であります。特に“プリ丸”と呼ばれるカキは、プリプリとしていて調理しても身が縮まず、ビックリするくらいのおいしさです。

このカキをカキ小屋で、自分で焼きながら食べることが出来ます。（4月1日まで、月曜日休み）是非一度お越し下さい。

二つ目は、ライオンズクラブ国際財団LCIFへ55万円を寄贈し、目録贈呈を行いました。当クラブは毎年メンバーよりMJF寄付・LCIF寄付を募り寄贈しておりますが、今回は記念事業として人道奉仕の領域でのお役に立てればとの思いで寄贈しました。これからも、当クラブとしては活動を通じて地域に根付く奉仕やLCIF寄付を継続していきたいと願っております。

地域の環境保全に貢献

1 R・4 Z 大須賀LC



ライオンズクラブ国際協会 334-C地区のガバナー「基本方針」である環境保全推進事業に基づき、大須賀ライオンズクラブでは、2006年から11年間この活動を継続的に実施してきた。

この事業は静岡県南西部掛川市と袋井市との境、国道150号線沿いにあるライオンズガーデン560㎡（170坪）の整備・管理をクラブ員の献身的努力により実施しているものである。

毎年4月には夏季の花、サルビア・マリーゴールド・センニチソウ等の種を播き、発芽した苗をポットに植え替えて水かけを実施して育成させる。さらに10cm程度に育った苗1200本を6月、ライオンズガーデンに移植してきた。

特に夏季の日照り続き時期の散水は連日クラブ員の交代制により実施してきている。

また9月には、冬季の花、パンジー、ビオラ、クリサンセマム等の種を播き、夏季の花と同様の手順により育成させ、成長した苗1200本を11月にライオンズガーデンに移植している。

土壌作り、施肥、草刈り、除草剤散布等の作業は人手を要す大変な仕事であるが、クラブ員の地道な努力と協力により実行してきた。こうした作業に要した時間は年平均310時間にも及んでいる。11年間では3400時間余りとなっている。

この作業は誰にでも出来る作業ではあるが、クラブ員の弛まぬ努力により現在まで継続して実施したところに価値があり連携による実践の成果は広く地域住民の皆さんから称賛されている。

ライオンズガーデン前にある信号機の設置された交差点で、停車した車の窓越しに「笑顔の明るい声が聞こえてくる」咲き誇るたくさんの花を見て、人は心を和ませ、会話を通して地域の人々との交流の輪が広がっている。

大須賀ライオンズクラブの2017～2018年のスローガンは「育てよう地域の宝、未来につながる奉仕活動！」である。この目標に従って今後も地道な環境保全活動は続いていく。

2R・1Z・2Z・3Z合同 中古メガネの収集

2 R ・ 1 Z 静岡芙蓉 LC



ライオン誌2017年7月号の「仙台にメガネリサイクルセンター設立」の記事を読み、このセンターの利用により、かねてから考えていた「中古メガネの収集」が一つのゾーンに止まらない大きな活動になるのではないかと直感した。また、地区ガバナーからのリジョン単位でのアクティビティの実施という指示もあり、早速2リジョンの各ゾーンチェアパーソンに相談したところ2ゾーン、3ゾーンのゾーンチェアパーソンが賛成してくれたので「中古メガネの収集」を2リジョン・1ゾーン・2ゾーン・3ゾーン合同のアクティビティとする事とした。

静岡県内及びロサンゼルス、パリに販売店のある㈱安心堂様が我々の活動に賛同し、静岡県内の同社各メガネ店にメガネリサイクル回収箱を設置していただけることに。10月14日、静岡メガネ店にてメガネリサイクル回収箱5個を贈呈し、この様子が翌日の静岡新聞朝刊に掲載された。また、静岡市を拠点に全国展開し

ているメガネトップ様からも多大な協力があった。

10月26日、仙台青葉LCと静岡青葉LCの合同例会にビジターとして出席。仙台青葉LC所属の岩本政郁地区ガバナーから日本初のメガネリサイクルセンターを設立した経緯を伺い、また距離的に離れた334-C地区の協力に対し感謝の言葉をいただいた。

12月27日にメガネ回収箱を集め、各ゾーン毎に集計。1ゾーン2857個、2ゾーン150個、3ゾーン188個、合計3195個。このうち500個を仙台メガネリサイクルセンターへ、残りをオーストラリアのライオンズリサイクルセンターへそれぞれ2018年1月末日までに発送の予定。また、1ゾーンでは仙台メガネリサイクルセンターにその運営資金として10万円の寄付を予定している。

短期間に、このような成果を出せたことに対し、各ゾーン並びにご協力いただいた。

ストライクで満面の笑顔

2 R ・ 2 Z 清水日本平 L C



清水日本平ライオンズクラブ（24名）では、今年度のスローガンである「地域に根ざす日本平ライオンズクラブ 知性と勇気を持って」の実現のため、今年度も就労支援施設通所者の皆さんを招待して9月27日にボーリング大会を行った。

今回で10回目の開催となり、既に当クラブの恒例事業として定着している今年は9施設から競技者121名と付添者28名の参加があり、他のLCやメンバーの企業の従業員の応援もあったことから、過去一番の賑わいとなった。

就労支援施設に通所している皆さんは、日頃レクリエーションを楽しむ機会も少ないため、作業は忘れて気分転換を図っていただきたいと考え、2007年からこの大会を開催している。開催当初は参加人員も少なかったが、回を重ねるごとに参加者も増え、今では、ボーリング場の全レーンを貸し切るまでに規模も拡大し会員一同事前準備を行った。



メンバーも既に多くの参加者とも顔なじみになっており、開始前から楽しげな会話に花が咲き、昨年の成績や今年に掛ける意気込みが語られるなど、熱気の中にも和気あいあいの雰囲気溢れていた。ボーリング大会が開始されると、ストライクやスペアが続出し、満面の笑顔で体いっぱい喜びを表現し、周りからは大きな歓声が沸き起った。身体的な障害からボールを投げるができない方には、すべり台に似た補助具を使用し、健常者と同様に楽しんでいただいた。ゲーム終了後に表彰式を行ったが、表彰のつどに何度も大きな拍手と歓声に包まれた。楽しい時間はあっという間に過ぎ、参加者の皆さんには明日からの各施設での作業の活力になっていただけたらと願う

参加者の皆さんからは多くのお礼の言葉をいただき、クラブメンバーも温かな気持ちとなり、笑顔で来年の開催と再会を約し散会した。

CN30周年記念事業 「ギネス達成」記念碑を市に寄贈

2 R ・ 3 Z 藤枝巽 L C



藤枝巽ライオンズクラブは本年クラブ創立30周年を迎えました。これもひとえに地域の皆様に温かくご支援頂いたお陰であり、また多くのライオンズクラブメンバーの皆様、そして藤枝巽を愛し、常に「われわれは奉仕する」の精神で支え、育て頂いた諸先輩ライオンのお陰です。30周年記念事業の一環として、この感激と感謝を形あるものとして残したいというメンバーの強い思いから、昨年よりクラブ例会等で数回にわたる話し合いを行いました。その結果、藤枝市民の皆さんが集う場所に何らかの記念碑を建立しようという事となりました。

しかしながら、どのような物がいいのか、なかなか決まらず頭を悩ませていました。建立場所は公的な場所になる為、市役所にも相談を行いました。そんな折、藤枝市では従前より全市を挙げて取り組んでいる花に触れ合う、花のある生活、花のまちづくり「ふじえだ花回廊」の機運をさらに醸成する為、市民が参加して花の植えられたプランターを蓮華寺池公園にズラリ並べて長い、長い花の列を作るというギネス世界

記録に挑戦するイベントを本年3月18日に行い、見事3117.17メートル「世界一長い花の列」としてギネス世界記録として認定されました。この偉業と藤枝巽ライオンズクラブCN30周年記念事業の記念碑建立とをコラボ出来ないかと考え、藤枝市役所担当部署と協議を行いました。その結果、市民の憩いの場所であり、観光スポットでもある蓮華寺池公園の畔の一等地を記念碑建立場所として市役所が提供してくれることとなりました。記念碑は「インパブルー」という石材で作し、プレートにはギネス記録となった3117.17メートル、イベントで使われた花の種類等が刻まれています。10月17日に記念碑除幕式を蓮華寺池公園にて行いました。当日は藤枝市長北村正平氏、副市長栗田隆生氏、クラブメンバーが出席して完成を祝いました。記念碑は市に寄贈いたしました。末永くこの記念碑が市民の皆さんに愛される事を願っています。素晴らしい記念碑が出来上がりました。ぜひ実物を観にご来藤下さい。

健康講座「心と身体健康」

2 R ・ 4 Z 5 L C



2017年10月21日（土）にグランシップにて健康講座『心と体の健康』を開催致しました。

2R4Zの5L Cは合同アクティビティとして、この講座を通じて、健康寿命日本一をめざす静岡県に賛同し、心と身体健康増進をライオンズクラブメンバー並びに市民に啓蒙いたしました。

ライオンズクラブでは子どもの貧困や青少年健全育成事業、献血活動、災害支援など様々な奉仕活動を行ってきましたが、それらを持続させていくためには健康であることが一番であると感じます。

健康でいるための知識や健康であることの大切さを学ぶために、講師には静岡県福祉部理事の土屋厚子先生をはじめ、薬剤師の山田玲子先生、医師の影山慎二先生、大学教授の渡邊泰雄先生の4名にリレー講演していただきました。

土屋先生の講座では、健康寿命を延ばすこととは、高齢者の寿命を延ばすだけでなく、働き盛り世代、子供世代も対象としていて、これは、若い世代を呼び込み、『すみやすい街』を目指す、静岡市の理念と合致するものと感じました。

また、講座を通じて自らの食生活を改めて考え直すきっかけになったと感じます。

会場には緑茶コーナーを設けて、参加者には、渡邊先生推奨の健康に良いとされる『ヌルねば食品』や乳酸菌飲料などの試供品を配布いたしました。

当日は、台風が近づき、連日の雨の中にも関わらず、5ライオンズクラブメンバーや一般市民約170人もの方にご参加いただきました。

最後になりますが、この講座の源資は先日のチャリティゴルフ大会の収益金によって行う事が出来ました。

皆様のご協力に厚く御礼を申し上げます。

100周年記念奉仕事業 沼津5LCフェスタ& 日本アイバンク運動推進協議会富士山大会

3 R ・ 1 Z 沼津5LC

沼津LC・沼津千本LC・沼津香陵LC・沼津中央LC・沼津駿河LC



沼津5LCフェスタ開催

沼津5LC会長会で100周年記念奉仕事業を沼津5LC合同で実施することを決定し、2015年に準備委員会を立上げ2016年7月から実行委員会で具体的な計画をしました。2016～17年度の1年間に毎月1人1000円を積立て3R・1Zの168名全会員で事業資金拠出し、2017年12月までに100周年記念事業「①青少年②視力③食料支援④環境」の4分野全ての奉仕事業の実施することが決定しました。第1弾として、沼津5LCフェスタを沼津中央公園にて5月4日に開催し、沼津5LCの奉仕活動のPRとアトラクション・物販飲食ブースを展開し、5000人以上の来場者があり大盛況でした。献眼登録70名、献血25名の実績、また会員提供品によるバザーの収益から沼津市社会福祉協議会に10万円を青少年の支援のために寄付しました。同時にスポGOMI大会 in 沼津駅南を開催（ゴミ拾いをその質と量で競い合う環境にやさしいスポーツ）19チーム82名が参加し、優勝チームは集めたゴミが8kgを超えました。



日本アイバンク運動推進協議会富士山大会開催

角膜障害で光を奪われた人達に、人としての真心と光を届ける運動それがアイバンク運動です。皆様がアイバンク運動の伝道者として角膜移植の普及及び啓発に努めて献眼登録を推進することを目的として、日本アイバンク運動推進協議会第40回全国大会富士山大会を10月29日に開催しました。研修会では浜松医科大学眼科教授堀田喜裕様の「目の病気と角膜移植」と小山LCの坂本全人の「小山LCの献眼活動」の話講演会では98歳になられたL・勸山弘が「持てるもの人のために」の演題でご自身の50年以上に亘る献眼アイバンク運動にまつわる講演し、開眼者渡邊小百合様のお話がありました。またコンサートでは全盲のテノール歌手新垣勉氏による「歌とお話」がありました。台風が接近する悪天候の中ライオンズクラブ関係者と市民の皆様400名が参加し、講演会とコンサートに感動し感銘を受けました。

（詳しくは沼津中央LCホームページ写真集をご覧ください）

SPECIAL EDITION

2Z合同「地区統一アクティビティ」道路美化清掃及び 「ライオンズクラブ創立100周年記念植樹・記念碑建立」

3R・2Z 富士マウントLC



2017年10月8日 3R・2Z（富士吉原LC、富士岳南LC、富士タカオカLC、富士中央LC、富士マウントLC）合同「地区統一アクティビティ」道路美化清掃及び「ライオンズクラブ創立100周年記念植樹・記念碑建立」を行いました。

当日は、ふじさんめっせ に於いて『大相撲富士山場所』が開催されており大勢の観客動員が予想されました。天候にも恵まれ交通量も多くライオンズクラブ奉仕活動をPRするには最も適した日でした。開催にあたり、来賓 小長井義正富士市長より日頃のライオンズクラブ奉仕活動に対し感謝のお言葉を賜り今後の活力になりました。

道路美化清掃には、総勢142名が新富士駅北柳島日東交差点を起点に各クラブ東西南北に分かれ各1kmに渡り道路美化清掃を致しました。

同日、「ライオンズクラブ創立100周年記念植樹・記念碑建立」に於いては、富士市役所、ふじさんめっせ の交渉から始まりました。また、当日の駐車場確保等々…何度ももの打合せ、現地視察を行いました。大相撲富士山場所のお客様にご迷惑をお掛けしない事を念頭に作業を致しました。

なお、ふじさんめっせ （大相撲富士山場所）会場内のゴミ清掃、回収を行い資金獲得致しました。この収益金を100周年植樹・記念碑建立費に充てました。

植樹場所は、ふじさんめっせ 西側緑地帯に10本のハナミズキを植樹致しました。

また、植樹・記念碑建立除幕式には関脇嘉風関、前頭筆頭琴奨菊関、十両天風関にも参加を依頼し華を添えて頂きました。ZCL 竹田光正より『今後も地域に認められる活動を展開し、住みよい街づくりへの奉仕活動と、200周年を目指しライオンズの奉仕の精神を次世代に受け継いでいく』と決意を示されました。

裾野市内小中高7校の吹奏楽部 初の合同演奏会 CN50記念・裾野吹奏楽フェスティバル

3 R ・ 3 Z 裾野 L C



裾野ライオンズクラブは2015年4月にCN50周年を迎えましたが、これに先立ち、2012年10月にL村松隆行式典委員長・L小泉利夫実行委員長を中心に実行委員会を立ち上げました。そして今回のCN50のメインテーマを「青少年健全育成」と世界文化遺産となった富士山、そして世界かんがい施設遺産に認定された深良用水、これらに抱かれた素晴らしい裾野市の「環境保全に取り組む」としました。こうした中、青少年健全育成事業については幾度となく議論を重ねた結果、実行委員会のなかでのL渡辺雄二の発案により、市内の小中高でそれぞれ活動する吹奏楽部一同を音響効果の素晴らしい市民文化センター大ホールに集めて合同演奏会を開催することに決めました。さらにこの事業は継続事業として2013年から2017年までの5年間はライオンズクラブが主催をしその後は何らかの形で他の組織に移管し継続していただくとの目標を立てました。

しかしこうした演奏会を市内で実施したことは今までなく。全てがゼロベースのスタートではありましたが発案者のL渡辺が吹奏楽の経験者であり、市内、西中吹奏楽の磯崎先生の的確なアドバイスや他校との熱心な連絡調整の結果、市教育委員会の後援もいただき2013年10月12日、市内7校（東小・深良小・東中・西中・富岡中・裾野高・不二聖心中高）の合計240名の児童生徒の出演により、多くの市民が参加し盛大に第一回が開催されました。これ以降毎年10月開催のこのフェスティバルは年々盛り上がりを見せ、各校の演奏レベルも年を追うごとに向上し、参加演奏する生徒のマナーも非常に良く、今後の継続も大いに期待され、その機運も盛り上がりつつあります。裾野ライオンズクラブとしては過去5回の開催ノウハウを他組織に十分に提供、利用していただきこの素晴らしいフェスティバルの継続を心より願うものであります。

市内小学校へ良本の贈呈

3 R・4 Z 富士宮LC



3 R 4 Zの石川Z Cと4クラブの会長は10月3日富士宮市役所を訪ねて書籍 136冊を池谷真徳教育長を通して市内公立の34校に4冊ずつ贈呈寄贈しました。購入資金は9月28日小田急西富士GCで開催された4 Zのチャリティゴルフ大会に参加した会員からの募金です。この本は人間学を学ぶ致知出版社の「心に響く5つの小さな物語 1、2」です。

私達4 Zは、十数年前2 Zが分割して誕生以来、Zのチャリティゴルフ大会として今日まで継続されてきました。メンバーからの募金は恒例となり施設への奉仕、植樹、孟宗竹の除伐及び彩ある街道づくり等地域に貢献してまいりました。本年度は石川Z Cが、地元市立北山小学校の学校評議委員だった3年前「幼い時に良い本、良い言葉を与えるのは大人の義務」がコンセプトの雑誌致知に会い、読み続け、日を追うごとにその内容に魅せられ、北山の子供たちに読ませたいという思いが強くなってきていました。そこで、評議委員会の閉会后、校長室でこの本を「15分で読めますから」と紹介。読後の第一声は“第5話の「縁をいかす」は教師の基本中の基本で、子供達ばかりか



先生達にも読ませたい”とのこと。“その他イチローの「夢を実現する」「喜怒哀楽の人間学」「人の心に光を灯す」等本校の道徳に生かします”又、二人の意見が一致し「6年生全員から親子で読みあう」ことができる本だと、その場で40冊の寄贈を約束しました。それが今回のLC 4 Zの寄贈につながりました。後日、メンバーからのチャリティ基金の活かし方について協議する中で、4クラブの三役に、この本の寄贈を提案したところ、本年度の共通のテーマ「未来を担う青少年の健全育成」そのもので市内全校に配布したことに対して全員が賛同をしました。10月3日贈呈式で、教育長は日頃のライオンズの諸活動に衷心より感謝と敬意を表された上で、現在当市では質の高い読書活動を展開している。“心を豊かにする”目標の一つ。子供たちに感動する事を体験させると“生きる力”が湧いてきます。結びに“良い本を1冊でも多くは教育の使命です”と力強く語り、私達の本の寄贈を評価してくれました。みな様の浄財で実現した「心に響く5つの小さな物語」は青少年健全育成を再認識した有意義なアクティビティでありました。

第10回レオサッカー大会を終えて

4 R ・ 1 Z 6 L C



2017年10月7日（土）第10回ライオンズクラブゾーンカップ争奪レオサッカー大会を東伊豆町立体育センターにて開催しました。

前日からの雨の為グラウンド整備ができず、急遽フットサル大会に変更して屋内での開催になりました。

大会会長であるゾーンチェアパーソン水谷幸伸を始め各クラブ会長・メンバーそして父兄が見守る中、ゾーン各地から9チーム123名の選手が入場し大会が幕を開けました。

予選9試合、順位決定戦と進み子供達父兄の声援歓声が響く中、決勝戦は伊東市のFCヴェンツーラ所属のクラージュ対アゴラFC熱海所属の熱海FC、白熱した戦いの結果

7-4でクラージュが優勝を決めました。

4R1Zの合同アクティビティであるレオサッカー大会は、2008年10月19日（日）子供達160余名の参加で始まりました。公式試合が殆んどない小学4年生以下の子供たち

に、日頃の練習の成果を発揮する場所を与えてあげたいと願う地域指導者の熱い要望に応え、伊東ライオンズクラブが尽力し実現させたアクティビティです。サッカー連盟加盟チームと非加盟チーム間の交流試合が事実上禁止されていた状況の中、三年半の月日をかけての実現でした。その後、ゾーン7クラブ（現6クラブ）が持ち回りで行う合同アクティビティになりました。発足当初の主旨に加え、少子化による団体競技離れが危惧される昨今、その抑止力になり得る貴重なアクティビティであると実感しています。

先日大会の際「サッカーが羨ましい。バレーもあったら良いのにね。」という言葉聞き、大会当初に伊東ライオンズクラブが唱えた“この大会が子供たちの大きな目標になるように”に繋がる言葉だと思いました。

第10回大会を終え、新たな気持ちで更なる努力を続けていきます。

薬物乱用防止教室

4 R ・ 2 Z 葦 山 L C



我々葦山ライオンズクラブは、チャーターナイト25周年を来年に控えた、まだまだ新しいクラブです。その分、クラブも活気に満ちております。結成以来『ウィ・サーブ』の精神のもと、様々な奉仕活動を行ってまいりました。その中で今回は、小中学校における薬物乱用防止講座の一端をご報告させていただきます。

葦山小学校・南小学校・葦山中学校の3校で、毎年7月頃に行っております。クラブメンバーに学校薬剤師がいる関係上、スムーズに学校側恒例の『薬学講座』の授業の中に、ライオンズクラブとして参加させていただくことが出来ました。すでに10年以上の長きに渡り、小学校は6年生を対象に、中学校は3年生が警察、2年生を学校薬剤師、1年生をライオンズクラブという構成で分担して講義を行っております。

ライオンズクラブの講座内容は『ダメ、ゼッタイ』のDVDの上映と、年度毎交代でライオンズの薬物乱用防止認定講師のメンバーが講話を行っております。

毎年、先生方や生徒たちに大変好評のようです。と言いますのも、後日必ず子供たちから自筆の感想文や礼状がクラブにたくさん届けられるからです。メンバー全員、心温まる思いでいっぱいです。危険薬物は『ダメ、ゼッタイ』を子供たちの心にしっかりと植え付ける気持ちで頑張っております。

地域青少年育成の一助として、私たちの街の子供たちが真っ直ぐに育って、将来、大きな街の財産となってくれることが我々の願いです。

子供たちの平和で健康な成長を思い、生涯続けていく覚悟です。今後も、クラブ一丸となって、頑張っていきます。



ライオンズクラブ国際協会334-C地区第64回地区年次大会

第64回年次大会へのお誘い

早春の息吹が感じられる時候となりました。地区メンバーの皆様には、常日頃からライオニズム高揚のため日々ご精進を賜っていることに心より感謝申し上げます。

さて、今年度も地区年次大会のご案内をお送りする時期になりました。既にご高承のとおり、来る5月13日（日）に沼津市・沼津市民文化センターに於いて第64回地区年次大会を開催いたします。

地区年次大会は地区内80クラブの一年間の奉仕活動の集大成の場であると同時に、地区内メンバーが相集い、日頃の奉仕活動を振り返り、讃え合って、和やかな交流の下に次年度の一層の活躍を期する場でもございます。

この一年間、各クラブメンバー各位におかれては、地区アクティビティ・スローガン“新たな100年へー全ての奉仕に光と愛を！”に沿って、まさに“新たな100年へ”のもと、心を一つに“全ての奉仕に光と愛”の奉仕活動にご尽力賜り、素晴らしい成果を上げて頂きましたことに重ねて厚く感謝申し上げる次第です。是非、新たな100年へ！の思いと共に、第64回地区年次大会へご参集賜りたく存じます。

今大会のホスト3R1Zは駿河湾越しの富士山、市街地をゆったり流れる狩野川。静岡県東部の中心である沼津市は、温暖な気候風土に恵まれた景勝の地でございます。新緑にそまった自然の恵みと細やかな人情、訪れる会員に安らぎとにぎわいを感じさせてくれる街に是非お出かけください。

大会式典でのアトラクションは、沼津で活躍する青少年・団体の演舞をご覧いただき、お楽しみいただきたいと思います。

また、記念チャリティゴルフ大会は4月16日（月）に沼津市「沼津ゴルフクラブ」にて開催いたします。新緑の薫りと共に駿河湾からの風を満喫しつつチャリティにご協力賜りたく、奮ってのご参加をお待ちしております。

ホスト3R1Z・5クラブメンバー一同、ご参集頂く皆様方を心からお迎えするべく鋭意準備を進めております。

海と山の恵み・景勝とにぎわいの街沼津市で開催する第64回地区年次大会へのご来駕を、ホストクラブ一同心からお待ち申し上げます。



ライオンズクラブ国際協会334-C地区 第64回地区年次大会



大会会長・地区ガバナー
岩崎 一雄



大会委員長
鈴木 静一

SPECIAL EDITION



新たな100年へー全ての奉仕に光と愛を！



ライオンズクラブ国際協会 334-C地区

第64回年次大会

ホスト／3R1Z(沼津・沼津千本・沼津香陵・沼津中央・沼津駿河ライオンズクラブ)

2018年5月13日(日)

場所／沼津市民文化センター



事務局だより

2017～2018年度第2回キャビネット会議報告



2017～2018年度第2回キャビネット会議が昨年11月29日(水)静岡市において開催されました。当日承認された主な事項は次の通りです。詳細は、資料と議事要録でご確認下さい。

《協議事項》

1. 2016～2017年度キャビネット会計決算報告並びに監査報告
2. 緊急運営資金積立金の一部を退職給与積立金に移管する件
3. 第64回地区年次大会議案提出締切日, 同大会運営組織表・実行表・収支予算について
4. 次期地区ガバナー・第一副地区ガバナー及び第二副地区ガバナー届出要領及び次年度キャビネットの組織編成について

※キャビネット会議議事要録をはじめ、地区の各種委員会議事要録や統計資料は地区ホームページの「会員専用」ページに公開しています。会員専用ページに入るにはパスワードが必要です。クラブ事務局がキャビネット事務局にお問い合わせ下さい。

2017年冬季YCE来日青少年について

昨年12月9日～28日にかけて当地区へ3名のYCE生が来日しました。内訳；オーストラリア女子1名(下田LC)、マレーシア男子1名(清水日本平LC)・女子1名(裾野LC)。冬季複合地区主催のユースキャンプは12月15日～20日までD地区鯖江市を中心に開催され、後半は京都見学が実施され、全員年末には帰国しました。ホストクラブ・ホストファミリーの皆様には年末のご多忙の中、温かいご協力に心より感謝申し上げます。

2018～2019年度の地区キャビネットスケジュールについて

次年度は年度末の複合地区年次大会が1か月前倒しで5月に開催されることになった為、8月以降の地区キャビネット各種会議・委員会・地区大会等もほぼ1か月前倒しの開催を予定しています。現時点では第65回地区年次大会は2019年4月21日(日)焼津市での開催が決まっています。次年度のスケジュールに関しては、今後決まり次第順次お知らせすることになります。各種情報にご留意ください。

2017年8月～12月 物故ライオン

逝去日	物故ライオン名	所属クラブ
2017. 8. 1	L 坂 尾 正 浜	北LC
2017. 8.14	L 寺 尾 幸 江	清 水 町LC
2017. 9.19	L 前 田 忠 男	菰 山LC
2017. 9.29	L 安 間 百合子	森 町LC
2017.11.13	L 杉 山 寿 夫	静岡芙蓉LC

逝去日	物故ライオン名	所属クラブ
2017.12. 8	L 飯 山 啓太郎	静岡芙蓉LC
2017.12.10	L 前 嶋 文 雄	浜松ホストLC
2017.12.11	L 田 村 慎 一	浜 松 東LC
2017.12.19	L 宮 下 浩 之	川 根LC

ご逝去を悼み、ご冥福をお祈り申し上げます。